

恵迪寮同窓会 道北・旭川恵迪会 会報 VOL. 20

2026年7月9日発行
発行：道北・旭川恵迪会事務局

第20回 道北・旭川恵迪会寮歌祭 開催報告

旭川に本格的な初夏の訪れを感じる2026年7月4日、旭川トーヨーホテルにて「第20回道北・旭川恵迪会寮歌祭」を開催しました。節目となる今回の祭典には、恵迪寮および北大の灯を絶やさぬ熱き思いを胸に抱いた同窓生14名が集結。寮歌を通して親睦を深め、大変活気に満ちた宴となりました。

■ 魂を震わせた、延べ13曲の「魂の高唱」

請川幹事の司会のもと、出席者の中で最年長である五味渕氏による乾杯の音頭で宴が始まりました。沼田氏の音頭による校歌「永遠の幸」を皮切りに、各参加者が自己紹介・近況報告を兼ねて一言述べた後、寮歌の前口上を行い、参加者全員で寮歌を高唱するというスタイルで会は進みました。参加者それぞれが胸に秘めた青春の記憶、恵迪寮や北大で過ごしたかけがえのない日々への思いが、魂の底から絞り出されるような前口上となって会場に響き渡りました。途切れることなく寮歌の連唱が続き、あっという間に時間が過ぎていきました。最後は、森代表幹事の前口上による「都ぞ弥生」とエールで会を締めくくりました。延べ13曲を参加者全員で高唱し、互いの魂を激しく揺さぶりました。

■ 旭川に応援団 OB が3名集結

現在、道北・旭川恵迪会には応援団 OB が3名在籍し、そのうち2名（森代表幹事、宜寿次幹事）が出席しましたが、今回、道外から応援団 OB の沼田氏にもご参加いただきました。応援団 OB が3名も揃ったので、応援団の応援歌でもある「瓊瑤みがく」を手振り付きで披露させていただきました。参加者の皆さんの熱唱やかけ声も相まって、大いに盛り上がったミニステージとなりました。

■ 新規参加者を交えて一伝統を維持しつつ未来への発展を期待して

節目となる第20回を大盛況で終えた道北・旭川恵迪会寮歌祭でしたが、今回は、「旭川」および「恵迪寮生」だけにこだわらず、広く周知と声掛けを行った結果、新たに3名（寮外生2名、道外1名）に参加いただきました。この会は「寮歌祭」であり、寮歌を謳歌することを目的としていますが、それだけではなく、北大生なら一度は聞いたことがある寮歌を通して、同窓生との親睦を深める貴重な場でもあります。今後も、この会の趣旨を理解して、一緒に楽しんでいただける多くの方々に参加いただけるよう工夫してまいりたいと思います。

（代表幹事 森 満範
：S57 入学・応援団）



